

日本氷上スポーツ学会第1回研究大会 開催要項

1. 趣旨

日本氷上スポーツ学会は、氷上スポーツの普及・発展に寄与することを目的に2018年に設立されました。

第1回となるこのたびの研究大会では、講演、一般報告、フォーラムなどを通して氷上スポーツ普及の現状と課題について共有を図り、わたしたちの学会に求められる貢献と活動のあり方を展望します。研究者に限らず、氷上スポーツのさらなる発展に関心のある学生や指導者、競技団体、行政、産業界など、種目・専門・立場の異なる多様な方々の参会を望んでおります。

2. 主催

日本氷上スポーツ学会

3. 日時

2019年6月29日（土）13:00～17:30

4. 会場

筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 教室
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
丸の内線《茗荷谷駅》より徒歩約2分

5. 参加者

学会員、一般、学生など氷上スポーツに関心ある方

6. 参加費

- ①学会員：2,000 円
- ②学生・大学院生：無料
- ③その他：3,000 円

＊参加費は大会当日、領収証と引き換えに現金にてお預かりします)



7. 申し込み

- (1) 方法 学会サイト《研究大会参加申込フォーム》より <https://jasiss.jp/>
- (2) 期限 6月12日（水）

8. お問い合わせ

電子メールまたはFAXにて以下へお願いします

日本氷上スポーツ学会事務局 info@jasiss.jp FAX：(03) 6811-0850

9. プログラム

11:00～12:00 理事会

12:00～12:30 総会（学会員のみ）

時 間	内 容
12:30	受付
13:00	開会
13:05 ～13:45	会長講演 ー学生氷上スポーツの発展と当学会への期待ー 日本氷上スポーツ学会会長 小野島真（明治大学）
休憩	
14:00 ～15:50	一般報告 （報告 12 分＋質疑応答 5 分＋演者交代 1 分） ①国内フィギュアスケート選手の外傷・障害発生の状況とその傾向について 阿部愛（船橋整形外科市川クリニック、日本スケート連盟フィギュア強化部*）、栃木悠里子（筑波大学、*）、佐藤謙次（佐藤整形外科、*）、室井良太（聖マリアンナ医科大学、*）、渡部賢二（埼玉医療福祉専門学校、*）、菊地正（v-conditioning studio、*）、竹内洋輔（法政大学、*）、鈴木智之（札幌円山整形外科病院、*）、土屋明弘（船橋整形外科病院、*） ②大学スケート研究会 30 年の活動報告 針ヶ谷雅子（明治大学）、野口和行（慶應義塾大学）、小森伸一（東京学芸大学） ③氷上スポーツ（スケート）学科設立について 水原元一（ANA グループ） ④日本におけるスピードスケートの普及形態と課題 ー小学校とクラブの結びつきに着目してー 渡邊瑛季（宇都宮共和大学） ⑤画像認識技術と機械学習を用いたフィギュアスケートジャンプの回転不足判定予測への試み 廣澤聖士（慶應義塾大学） ⑥栄養サポート「食とアミノ酸のコンディショニングについて 片山美和（味の素株式会社）
休憩	
16:00 ～17:25	フォーラム ー氷上スポーツの普及に関わる現状と課題ー 高嶋遥（アイスホッケー女子元日本代表選手） 町田樹（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科） 矢島友喜（長野県茅野市役所） ファシリテーター：坂井寿如（日本氷上スポーツ学会理事）
17:30	閉会

懇親会を 18 時頃より茗荷谷駅周辺にて行います。会場等詳細は追ってご案内申し上げます。
（大会参加フォームよりお申し込みいただき、会費は当日頂戴します。）